

## VI 検査課の業務概要

公衆衛生行政推進の為、「千葉県検査業務運営要領」に基づき、関係各課と連携を密にし、試験検査業務を実施している。また、検査課が設置されていない山武健康福祉センター及び夷隅健康福祉センターの検査業務を兼務している。

業務内容は、臨床検査としてエイズ・性感染症・肝炎対策に係る検査、平常時の感染症対策としての腸内細菌検査、食品衛生検査、健康危機管理検査として感染症・食中毒等に係る検査等である。また、検査技術及び精度の向上のため、精度管理事業を実施し業務管理の徹底に努めた。

### 1 臨床及び細菌検査業務

#### (1) 臨床検査

エイズ対策事業としてH I V抗体検査 266 件、性感染症予防対策として梅毒検査 260 件、ウイルス性肝炎対策としてC型肝炎ウイルス抗体検査 260 件及びB型肝炎ウイルス抗原検査 261 件を実施した。

また、原子爆弾被爆者対策事業に係る健康診断での尿検査を 27 件実施した。

#### (2) 細菌検査

平常時における感染症対策として、給食施設従事者、食品従事者及び水道施設従事者等を対象とした、赤痢菌、チフス菌、パラチフスA菌、サルモネラ属菌及び腸管出血性大腸菌O157等の腸内細菌検査を 6,963 件実施した。

### 2 食品衛生検査業務

#### (1) 食品細菌検査

食品衛生監視指導を推進するために食品機動監視課が管内施設から収去した食品等について、162 検体 1,092 項目の細菌検査を実施した。

#### (2) 乳類規格試験

収去による市販牛乳の乳類規格試験を細菌・理化学検査について 1 検体 6 項目を実施した。

### 3 健康危機管理検査業務

#### (1) 感染症発生に伴う検査

感染症発生時における原因究明と感染拡大防止の為に、患者、家族・接触者等の原因菌検査を 5 事案 20 件実施し、腸管出血性大腸菌O145 (2 件) を検出した。

#### (2) 食中毒及び苦情食品等の検査

食中毒及び有症苦情発生時において、原因究明と感染拡大防止の為に、食品等の検査を 15 事案 111 検体 2,118 項目実施し、黄色ブドウ球菌 8 件、セレウス菌 2 件、ウエルシュ菌 2 件、カンピロバクター7 件、ノロウイルス 49 件を検出した。

### 4 精度管理事業

検査結果の信頼性を確保するために、内部精度管理及び外部精度管理を実施し、ともに結果は良好であった。

(1) 内部精度管理として、添加回収試験、繰り返し試験、陽性対照試験を実施した。

(2) 外部精度管理として、外部の調査機関 2 施設による外部精度管理調査に参加した。

# 1 臨床及び細菌検査業務

## (1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分			平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	長生保健所	山武保健所	夷隅保健所
血液	梅毒	TP 法	324	318	260	120	116	24
		STS 法	324	318	260	120	116	24
	HIV 抗体		325	323	266	121	121	24
	HCV 抗体		331	330	260	119	117	24
	HBs 抗原		329	330	261	119	118	24
	その他		—	—	—	—	—	—
尿	糖		43	37	27	12	9	6
	蛋白質		43	37	27	12	9	6
	ウロビリノーゲン		43	37	27	12	9	6
	潜血		43	37	27	12	9	6
喀痰	結核菌	塗沫鏡検	—	—	—	—	—	—
		培養	—	—	—	—	—	—
便	寄生虫	塗沫鏡検	—	—	—	—	—	—
		ぎょう虫卵	—	—	—	—	—	—

## (2) 細菌検査

表 1 - (2) 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
平成 29 年度		7752	5506	671	334	1241
平成 30 年度		6848	4531	561	379	1377
令和元年度		6963	4591	601	498	1273
長生 保健所	赤痢菌・チフス菌・ハ°ラチフス A 菌・ サルモネラ属菌※1	1527	886	64	41	536
	腸管出血性大腸菌 0157	1523	850	95	41	537
	その他の菌	25	25	—	—	—
山武 保健所	赤痢菌・チフス菌・ハ°ラチフス A 菌・ サルモネラ属菌※1	1228(1)	867(1)	91	210	60
	腸管出血性大腸菌 0157	1508	929	321	119	139
	その他の菌	—	—	—	—	—
夷隅 保健所	赤痢菌・チフス菌・ハ°ラチフス A 菌・ サルモネラ属菌※1	211	163	—	48	—
	腸管出血性大腸菌 0157	941	871	30	39	1
	その他の菌	—	—	—	—	—

※ 1 : サルモネラ属菌検査は希望者のみに実施

※ 2 : ( ) 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

## 2 食品衛生検査業務

### (1) 食品細菌検査

表2-(1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 29年度	平成 30年度	令和			
				元年度	長生保健所	山武保健所	夷隅保健所
検 体 数		193	157	162	63	53	46
項 目 数		1538	1464	1092	442	347	303
項目内訳	細菌数（生菌数）	179	143	152	58	48	46
	大腸菌群の有無	172	142	148	60	45	43
	黄色ブドウ球菌	169	137	148	60	45	43
	サルモネラ属菌	169	137	148	60	45	43
	腸炎ビブリオ	20	19	17	6	11	—
	腸炎ビブリオ最確数	17	10	—	—	—	—
	カンピロバクター	27	24	46	31	10	5
	E. coli の有無	18	12	13	2	8	3
	E. coli の最確数	—	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	152	140	140	55	45	40
	腸管出血性大腸菌 026	123	140	140	55	45	40
	腸管出血性大腸菌 0111	123	140	140	55	45	40
	腸管出血性大腸菌 0103	123	140	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0121	123	140	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0145	123	140	—	—	—	—
その他（ ）	—	—	—	—	—	—	

### (2) 乳類規格試験

表2-(2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成 29年度	平成 30年度	令和			
				元年度	長生保健所	山武保健所	夷隅保健所
検 体 数		1	1	1	1	—	—
項 目 数		6	6	6	6	—	—
項目内訳	細菌数（生菌数）	1	1	1	1	—	—
	大腸菌群の有無	1	1	1	1	—	—
	比重	1	1	1	1	—	—
	酸度	1	1	1	1	—	—
	無脂乳固形分	1	1	1	1	—	—
	乳脂肪分	1	1	1	1	—	—

### 3 健康危機管理検査業務

#### (1) 感染症発生に伴う検査

表3-(1) 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区分	事案数	計	便			その他
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
平成29年度	6	62	30	31	—	1
平成30年度	8	45	14	31	—	—
令和元年度	5	20	5	15	—	—
長生保健所	コレラ菌	—	—	—	—	—
	赤痢菌	—	—	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—
	パラチフスA菌	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌0157	1	8	2	6	—
	腸管出血性大腸菌0145	3	6(2)	2	4(2)	—
	新型コロナウイルス	—	56(5)	—	—	—
山武保健所	コレラ菌	—	—	—	—	—
	赤痢菌	—	—	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—
	パラチフスA菌	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌0157	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌026	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌0103	1	6	1	5	—
新型コロナウイルス	—	5	—	—	—	5
夷隅保健所	コレラ菌	—	—	—	—	—
	赤痢菌	—	—	—	—	—
	チフス菌	—	—	—	—	—
	パラチフスA菌	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌0157	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌026	—	—	—	—	—
	新型コロナウイルス	—	3	—	—	—

※ ( ) 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

## (2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表3-(2)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況 (単位:件)

区分		計	食品	便	吐物	ふきとり	その他
事案数							
平成29年度	29	検体数 243 項目数 4768	52 968	146 2912	5 107	39 780	1 1
平成30年度	24	検体数 245 項目数 4675	— —	190 3575	— —	55 1100	— —
令和元年度	15	検体数 111 項目数 2118	1 10	90 1708	— —	20 400	— —
項目内訳	コレラ菌	100	—	80	—	20	—
	赤痢菌	101	1	80	—	20	—
	チフス菌	101	1	80	—	20	—
	パラチフスA菌	101	1	80	—	20	—
	腸炎ビブリオ	100	—	80	—	20	—
	NAGビブリオ	100	—	80	—	20	—
	ビブリオ ミミクス	100	—	80	—	20	—
	ビブリオ フルビアリス	100	—	80	—	20	—
	黄色ブドウ球菌	101	1	80	—	20	—
	サルモネラ属菌	101	1	80	—	20	—
	セレウス菌	101	1	80	—	20	—
	ウエルシュ菌	101	1	80	—	20	—
	カンピロバクター	100	—	88	—	20	—
	エルシニア エンテロコリチカ	100	—	80	—	20	—
	エロモナス フィドロフィア	100	—	80	—	20	—
	エロモナス ソブリア	100	—	80	—	20	—
	プレジオモナス シゲロイデス	100	—	80	—	20	—
	下痢原性大腸菌	101	1	80	—	20	—
	腸管出血性大腸菌 0157	101	1	80	—	20	—
	腸管出血性大腸菌 026	100	1	79	—	20	—
	ノロウイルス	79	—	79	—	—	—
	ロタウイルス	11	—	11	—	—	—
	アデノウイルス	11	—	11	—	—	—
大腸菌群	—	—	—	—	—	—	
細菌数(生菌数)	—	—	—	—	—	—	
その他( )	—	—	—	—	—	—	
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌	8	—	8	—	—	—
	セレウス菌	2	—	1	—	1	—
	ウエルシュ菌	2	—	2	—	—	—
	カンピロバクター	7	—	7	—	—	—
	ノロウイルス	49	—	49	—	—	—

表3-(2)-イ 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況  
(当年度保健所別・再掲)

(単位：件)

項 目		長生保健所	山武保健所	夷隅保健所
コレラ菌		34	30	36
赤痢菌		35	30	36
チフス菌		35	30	36
パラチフス A 菌		35	30	36
腸炎ビブリオ		34	30	36
NAG ビブリオ		34	30	36
ビブリオ ミミクス		34	30	36
ビブリオ フルビアリス		34	30	36
黄色ブドウ球菌		35	30	36
サルモネラ属菌		35	30	36
セレウス菌		35	30	36
ウエルシュ菌		35	30	36
カンピロバクター		34	30	44
エルシニア エンテロコリチカ		34	30	36
エロモナス フィドロフィア		34	30	36
エロモナス ソブリア		34	30	36
プレジオモナス シゲロイデス		34	30	36
下痢原性大腸菌		35	30	36
腸管出血性大腸菌 0157		35	30	36
腸管出血性大腸菌 026		35	29	36
ノロウイルス		34	30	15
ロタウイルス		1	1	9
アデノウイルス		1	1	9
大腸菌群		—	—	—
細菌数 (生菌数)		—	—	—
その他 ( )		—	—	—
合 計		726	631	761
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌	2	3	3
	セレウス菌	—	—	2
	ウエルシュ菌	—	1	1
	カンピロバクター	—	3	4
	ノロウイルス	19	25	5

#### 4 精度管理事業

##### (1) 内部精度管理

表4- (1) 内部精度管理実施状況

項 目	実施回数
添加回収試験	細菌数 (生菌数) 48
繰り返し試験	細菌数 (生菌数) 8
	牛乳理化学 1
陽性対照	腸管出血性大腸菌 0157 15
	腸管出血性大腸菌 026 15
	腸管出血性大腸菌 0111 15
	腸管出血性大腸菌 0103 1
	腸管出血性大腸菌 0121 1
	腸管出血性大腸菌 0145 1
	黄色ブドウ球菌 16
	E. coli 24
	サルモネラ 16
	腸炎ビブリオ 4

##### (2) 外部精度管理

表4- (2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人 食品薬品安全センター	大腸菌群 一般細菌数 黄色ブドウ球菌 <i>E. coli</i> サルモネラ属菌 腸内細菌科菌群
千葉県衛生研究所	<i>Campylobacter</i> 属菌の馬尿酸塩分解能試験 ノロウイルス (リアルタイム PCR 法、RT-PCR 法)